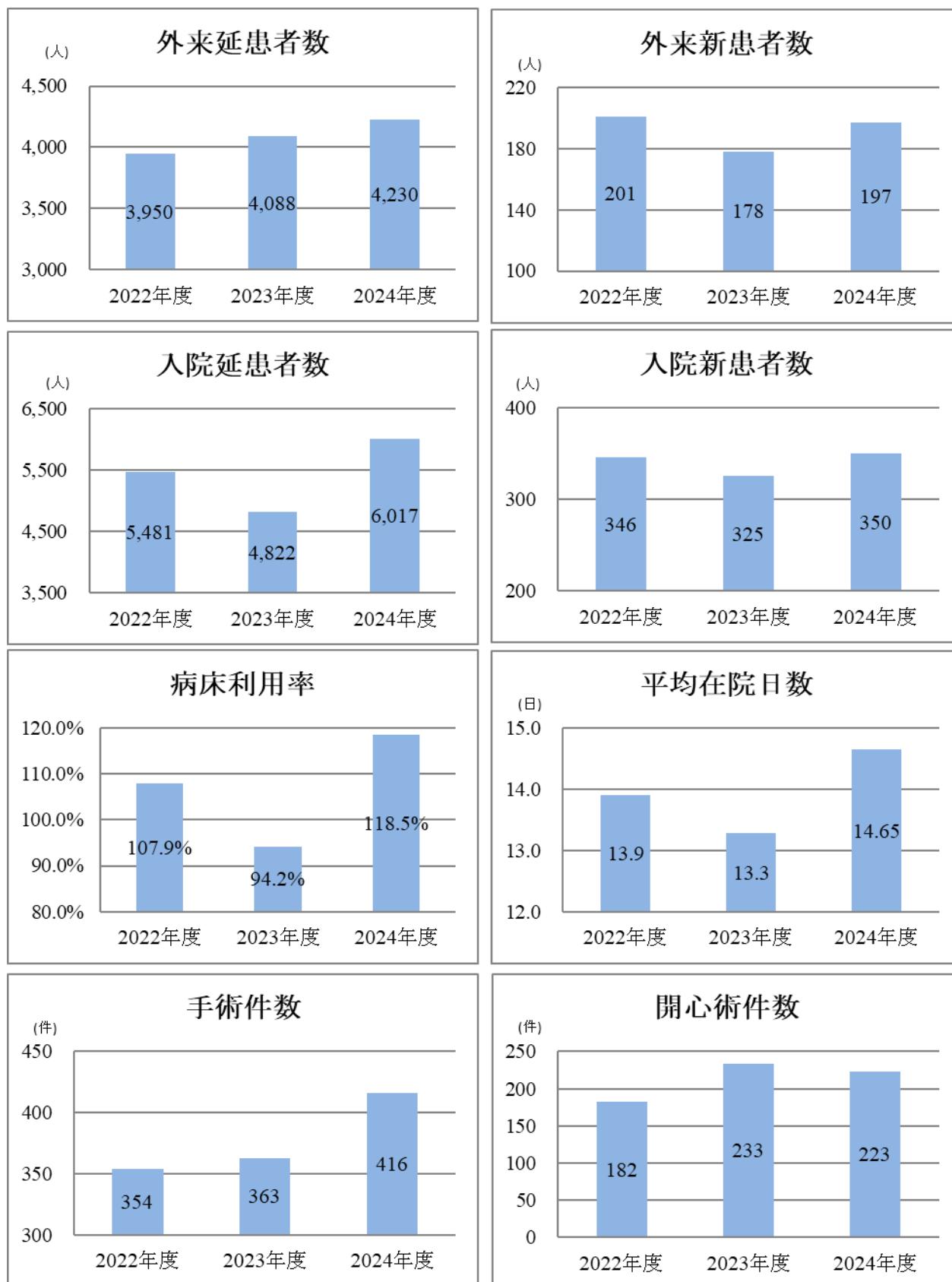


2-14 心臓血管外科

診療実績



診療活動

順天堂大学医学部附属静岡病院心臓血管外科は現在5人のスタッフで診療を行っております。診療圏は伊豆半島を含む静岡県東部地域ですが、心臓血管外科診療を行う施設は多くありません。一方で地域の高齢化は進んでおり、循環器治療が必要な患者様が多くいらっしゃいます。さらに首都圏と比較しても高齢者、全身疾患や併存症を有する患者様の割合が多いことも特徴です。このようなリスクの高い患者様に対しても大学附属病院の利点である他診療科および多職種との強力な連携のもとで診療を行っております。循環器内科との合同カンファレンス、麻酔科・手術室・集中治療室・臨床工学室との多職種カンファレンスを毎週開催しております。

平成2024年度の1年間で心臓胸部大血管手術223例(TAVIおよびTEERを含む)、腹部大動脈瘤やその他の手術を含めて計431例の手術を実施しました。

診療成績については、手術症例数は飛躍的に増加している一方で、平均在院日数は以前と比較して短縮しており、先進的医療の成果と同時に診療成績の向上を示しております。

次年度目標

高齢化に伴い著しく増加している心臓大血管疾患に対する低侵襲治療に力を入れております。

重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁植え込み術(TAVI; Transcatheter Aortic Valve Implantation) 循環器内科とともにハートチームとして行っています。ハートチームとしては現在3名のTAVI指導医、2名のTAVI実施医があり従来の外科的大動脈弁置換術が困難である高齢者やfrail症例、また透析症例に対して、質の高い治療を行っております。

僧帽弁疾患や大動脈弁疾患に対しては小切開や内視鏡で行う低侵襲心臓手術(MICS; Minimally Invasive Cardiac Surgery)を積極的に行っております。この手術は3-6cmの小さな皮膚切開から行う弁膜症手術であり順天堂グループの優れた成績を維持しながら低侵襲化に取り組むことに特に力を入れております。さらに2024年にはロボット支援下心臓手術を開始いたしました。

低侵襲治療分野においては大動脈瘤に対する開胸手術のみならず血管内治療も症例数が増加しその治療成績も向上しております。大動脈瘤に対するステントグラフトは耐術能に悖る患者様やfrail症例に対して行われる血管内治療ですが、従来の開胸手術とともにその成績は良好です。

近年、冠動脈インターベンションの適応拡大に伴い減少している冠動脈バイパス術(CABG)ではありますが、当科の心拍動下に血行再建を行うオフポンプ治療と長期予後を見据えたグラフト選択によるCABGは術後の回復も早く、患者様やご紹介いただいた先生方に高い評価を頂いております。そのために遠方からの患者様も多くお越しになり、症例数は増加しております。

その他、地域の特性から大動脈解離、大動脈瘤などの急性大動脈症候群に対する緊急手術も数多く手掛けておりその成績も良好です。大動脈疾患に対しては、従来の開胸手術、ステントグラフト治療あるいは両方の治療を組み合わせることで、救命率の向上だけでなく遠隔期予後の改善も目標として治療を行っており、我々の取組みとその成果を学会に報告しております。

2024年度も引き続き、臨床面では手術成績の向上により重点を置くこと、TAVIやロボット心臓手術などの先進的な医療を提供できる県東部地域の基幹病院としての地位を確固たるものとすることを目指といたします。また学術活動もさらに活性化し、静岡病院から世界に向けた研究成果を発信できるよう尽力して参ります。

診療・研究・教育の3分野で、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構における基幹施設にふさわしい活動を年間通じて継続してまいりますので、みなさま方からのご指導・ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。

研究・教育活動

① 原著（英文）

1. Oda R, Kajimoto K, Yamamoto T, Endo D, Kinoshita T, Amano A, Tabata M. Long-Term Outcomes of Coronary Artery Bypass Grafting Using an Internal Thoracic Artery versus a Radial Artery as a Second Arterial Graft. Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2024;30(1):24-00029

② 症例報告（英文）

1. Tanaka T, Kinoshita T, Endo D, Tabata M. Simultaneous beating-heart mitral valve replacement and aortic repair following Bentall procedure via double right mini-thoracotomies: a case report. Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases. 2024 Sep 20;3(1):43

③ 学会発表および講演（国内）

1. 梶本 完：心拍動下の速くきれいな冠動脈吻合を科学する. 第37回日本冠疾患学会学術集会. 11月30日
2. 梶本 完：高齢者やハイリスク患者に対する取り組み. 第16回 静岡県東部心臓血管外科循環器科連携の会. 2月9日
3. 梶本 完：座長. 第46回 静岡県心臓血管外科手術手技ビデオカンファレンス. 4月13日
4. 梶本 完：座長. 第68回 静岡県心臓血管外科医会. 9月13日
5. 田中利昌：拡張型心筋症に対して完全鏡視下・心拍動下に左室内血栓摘出および僧帽弁輪形成術を実施した1例. 第46回 静岡県心臓血管外科手術手技ビデオカンファレンス. 4月13日
6. 田中利昌：肋間動脈仮性瘤破裂および急性B型大動脈解離を同時診断し両者に対して血管内治療を施行し救命した1例. 第67回関西胸部外科学会学術集会. 6月13日
7. 田中利昌：心房性ナトリウム利尿ペプチドによる心筋線維化抑制効果の細胞生物学的検討. 第77回日本胸部外科学会定期学術集会. 11月1日
8. 大山徹真：当院における胸部大動脈瘤に対するNajuta+C-TAGを使用した4症例. 第5回静岡県血管外科症例検討会. 7月14日
9. 大山徹真：腸骨動脈アクセス不良を伴う重複大動脈瘤に対して開腹Yグラフト置換術とTEVARを一期的に実施した1例. 第68回 静岡県心臓血管外科医会. 9月13日